

神奈川県立武山支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 武山支援学校 第2回 学校運営協議会
開催日時	令和7年10月28日(火) 10:00～12:00
開催場所	武山支援学校 応接室
出席者	学校運営協議会委員 8名
会議資料	・令和6年度 第2回たけやま学校運営協議会開催要項 ・プレゼンテーション資料 ・武山びより、進路だより ・令和7年度学校運営協議会3校合同協議会の開催について
議事録	<p>(1) 会長 挨拶 今回の学校運営協議会では、折り返し地点ということで中間評価を行うが、重点としては分教室の課題を取り扱う。学校の課題を絞り込んで解決について話し合う場としてこの学校運営協議会はふさわしいと考えている。</p> <p>(2) 学校評価部会 ○ 議案① 令和7年度中間評価について <副校長> (パワーポイント資料により、以下の内容について説明) (教育グループ)・年間指導計画と新しい書式の個別指導計画の連携と見直し ・知肢統一の課題整理 (総務グループ)・業務の効率化、ペーパーレス ・無利息口座への変更、令和8年度に向けた会計システムの検討 (支援グループ)・緊急案件も含めたスムーズなカンファレンスの実施 ・一学期から分教室の相談室を実施 (安全グループ)・防災倉庫の点検を夏季休業中に実施 ・地域との防災連携の強化が課題 ・熱中症対策の徹底 (小学部)・学習指導要領に基づいて年間計画の目標を段階的に作成し、随時見直しを実施 (中学部)・年間指導計画及び個別教育計画の内容について確認、見直しを実施 ・近隣学校との交流を模索中 (高等部)・知肢統一の現状確認を実施たので、今後は分析して目標を設定共有することが課題 ・入学者選抜資料書式変更による業務削減 (分教室)・電子黒板と一人1台端末を併用して活用している(双方向のやり取りが課題) ・近隣農家との連携で専門的なアドバイスで出荷まで体験しているが課題もある</p> <p>【質疑応答】 ・沢山取組をされた中で、一番頑張ったことは何か →熱中症対策である。活動場所が少ないため、安全対策をしながら活動を工夫した</p> <p>○ 議案② 津久井浜分教室の職業の学習について <岩瀬総括教諭> ・授業や体力づくり、革工班、農業班の活動の様子を動画で視聴及び説明 ・体力づくりは就労の基本となり、会社からも求められる ・革工班の仕事は集中力が培われるし、分業制で「ほうれんそう」を大切にしている ・農園芸班では今年度は大きな畑を使用し作物を収穫し、収穫したものは、自宅で調理して食べた</p> <p>【課題】 ・今年度、津久井観光農園で長ネギの収穫までの体験をしたが、長期休業中の水やり等、収穫までのプロセスの全てを分教室でまかなうことに無理がある ・収穫量が多く(5万本)見通しが持ちにくい ・雑草の除去がかなりの労力で、暑い時期は熱中症対策で限られた時間しか活動できない(日除けがない)</p> <p>【課題に対して各委員からの意見や助言等】 ・分教室の生徒はあくまでお手伝いというスタンスで良いのではないか ・農家ではないので、品目と場所は限定し、夏季はやらないで良いと思う ・農業専門のコースという訳ではないのでそこまで投資しなくてよいのでは ・水やりは農家に頼んではどうか ・津久井浜高校の生徒の参加も検討してみてもどうか ・生徒が明るくなったように感じる。体験活動により達成感が得られていると感じる ・農業体験して、これまで農家に繋がった例はあるか →ある ・無理してやることはないが、収穫までのプロセスがないと得るものが少ない ・中学校では、一部業務を学校以外に依頼しているが、その様に様々工夫できることもあると思う ・JAと繋がると色々協力できるので、JAを活用してはどうか ・夏の活動は本当に厳しいと思う ・PTAも活用していただいて良い ・地域を巻き込むという意味で、収穫体験を無料でお願いできるか →可能だと思う</p> <p>(3) 校長挨拶 分教室の課題について、貴重なご意見いただき、福祉全体の課題に対する道筋がみえて有り難い。共生社会やインクルーシブ教育については、地域での学びにそれぞれの課題がある。インクルーシブ教育推進校と分教室の住み分けと共生を行いながら、地域への貢献もしていきたいと考えている。</p>